

2023年11月29日

報道関係者各位

グローリー株式会社

競馬場の指定席エリアで 顔認証技術を活用した入退場管理の実証実験を実施

グローリー株式会社は、日本中央競馬会（所在地：東京都港区、理事長：吉田 正義）の東京競馬場および京都競馬場の指定席エリアにおいて、顔認証技術を活用した入退場管理の実証実験を、2023年11月4日～12日の東京競馬開催日、2023年11月18日～26日の京都競馬開催日に実施しました。



現在、競馬場の「指定席エリア」には、お客さまのQRチケットをスタッフが専用のデバイスで読み取り、認証しなければ指定席エリアへ入退場することができません。

本実証実験は、入退場時におけるお客さまの利便性向上を検証するもので、入退場の際、QRチケットを準備することなく、「顔」だけで入退場可否を判定できる新たな仕組みです。

具体的には、顔画像登録端末で自身の顔画像を登録しておくことで、指定席エリアへの入退場時は顔認証端末に顔をかざすだけで、本人認証ができ、入退場が可能となります。

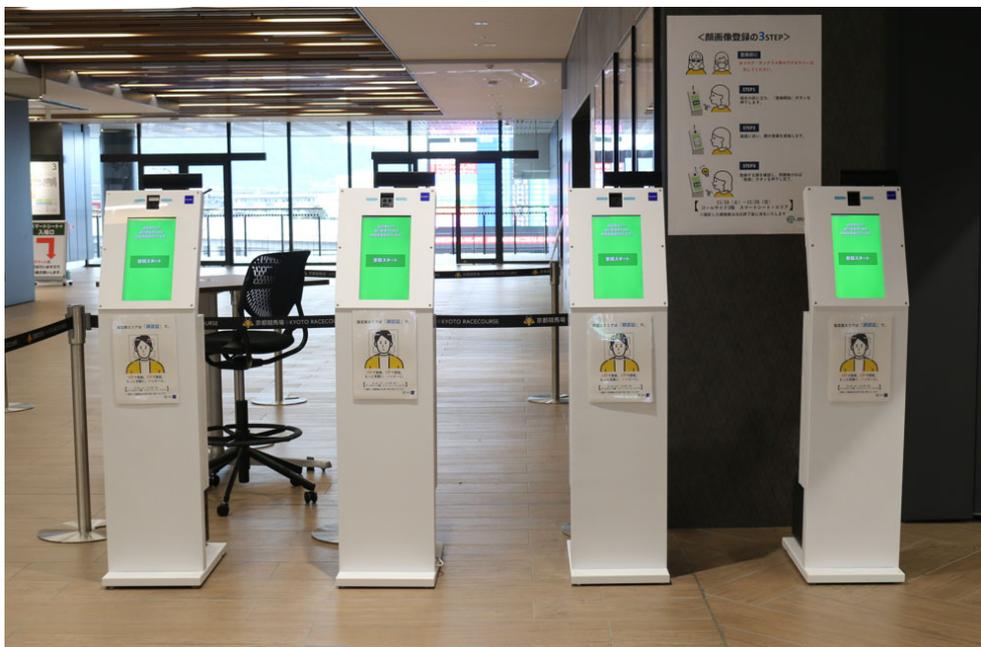
本実証実験では、約1,500名のお客さまが入場の際、簡単に登録ができること、およびレース直前に再入場が集中する状況において、安定的に入場できる認証性能を有する必要性があり、顔認証による入退場管理の実用性・利便性や、登録と認証にかかるスピード、認証精度がどこまで担保できるかなどを検証しました。

その結果、入場時の顔画像登録は平均約5秒でお客さま自身が簡潔に行え、また、入退場時の顔認証は平均約1秒とスピーディーな認証を実現しました。再入場のピーク時には、1分間で約100名（※1）の認証を行い、大幅に混雑を緩和し、お客さまに負担のないスムーズな入場を実現しました。

さらに、お客さまが帽子とマスクを着用した厳しい条件下でも、99.5%という高い精度の本人認証率が保持できていることと同時に、当社の顔認証のスピードが有効であることを確認しています。

実証実験後のアンケートでは、お客さまから、「簡単で非常に便利」「売店で買い物して両手がふさがっていても入場できるので助かる」などの多くのご好評をいただいています。

グローリーは、本実証実験により顔認証による入退場管理の実用性・有効性を確認し、2024年3月に指定席エリア向け無人入退場ソリューションの実用化を目指します。



顔画像登録・認証端末

※1 認証端末 5 台の場合

※ 本実証実験で使用した顔画像データは、指定席エリア通行時の本人認証のみに利用し、当日の競馬開催終了後速やかに全てデータを消去しております。

【お客さまからのお問い合わせ先】

グローリー株式会社 国内カンパニー 営業本部 画像ソリューション推進部

電話 (03) 5207-3020

【報道機関からのお問い合わせ先】

グローリー株式会社 経営戦略本部 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

電話 (079) 294-6317